

第2回農業委員会委員の定数及び任期等検討小委員会会議結果報告書

開催日時	平成17年1月5日(水) 10:00~11:00					
開催場所	古川合同庁舎 大会議室					
委員の出欠 出席者 欠席者×	委員長 (古川市農業委員会会長)	森谷 尚生		委員 (鳴子町住民代表)	菊地 美恵子	×
	副委員長 (田尻町住民代表)	加藤 節幸		委員 (田尻町住民代表)	白旗 茂典	×
	副委員長 (岩出山町農業委員会会長)	大沼 洪悦		委員 (古川市農業委員会委員)	鈴木 悟	
	委員 (古川市住民代表)	石村 明美		委員 (松山町農業委員会会長)	佐藤 晃	
	委員 (古川市住民代表)	米城 夏江		委員 (松山町農業委員会委員)	渡邊 栄喜	
	委員 (松山町住民代表)	小原 文夫		委員 (三本木町農業委員会会長)	相沢 叡	
	委員 (松山町住民代表)	佐藤 信藏		委員 (三本木町農業委員会委員)	小関 芳樹	
	委員 (三本木町住民代表)	佐々木 賢司	×	委員 (鹿島台町農業委員会会長)	岡本 安吉	
	委員 (三本木町住民代表)	寺澤 道子		委員 (鹿島台町農業委員会委員)	高埜 仁	
	委員 (鹿島台町住民代表)	阿部 雅良		委員 (岩出山町農業委員会委員)	佐藤 佑	×
	委員 (鹿島台町住民代表)	中條 勲		委員 (鳴子町農業委員会会長)	上野 忠志	
	委員 (岩出山町住民代表)	氏家 登志子		委員 (鳴子町農業委員会委員)	佐藤 博行	×
	委員 (岩出山町住民代表)	鹿野 孝		委員 (田尻町農業委員会会長)	羽生 正明	
	委員 (鳴子町住民代表)	菅原 信朗		委員 (田尻町農業委員会委員)	千葉 哲弥	
				出席者23名・欠席者5名		
事務局	事務局長 佐藤吉昭 事務局次長 岡本 透,					
	財政班:班長 金森 正彦,主任 佐々木 雅一,班員 遠藤 愛					
	計画班:主任 赤間 幸人,班員 高橋 健					
傍聴者	一般 0名・報道関係 0名					
委員長の署名						

会議次第

1. 開 会
2. 開会あいさつ
3. 協議事項
(1) 農業委員会委員の定数及び任期等の取扱いの変更について
4. その他
5. 閉会あいさつ
6. 閉 会

議事の概要

1. 開 会
2. 開会あいさつ … 森谷委員長
3. 協議事項
(1) 農業委員会委員の定数及び任期等の取扱いの変更について
前回の会議において集約した小委員会の意見（選択肢4：合併後に7つの農業委員会を置き、平成18年7月20日に2つの農業委員会に統合し、平成20年を目標に1つの農業委員会に統合する案）を確認した上で、各市町農業委員会代表委員がそれぞれの農業委員会での報告結果について説明した。各市町では農業委員会委員に対して会議あるいは文書等で小委員会の方向性を報告しており、いずれも選択肢4について異論がなかったことを確認した。各市町農業委員会での報告結果は次のとおり。
古川市農業委員会
・12月23日の小委員会で概ね決定された内容に対して古川市農業委員会から混乱を招くことのないよう各委員に対し小委員会の会議結果を文書で報告したところ異論はなかった。
松山町農業委員会
・住民代表委員と農業委員会代表委員の4人に全て任されており、松山町農業委員会として選択肢4を支持することとしたい。
三本木町農業委員会
・農業委員会の総会が小委員会開催前であったため、各委員に対し小委員会の会議結果を文書で報告したところ異論はなかった。
鹿島台町農業委員会
・農業委員会の総会が小委員会開催前の12月22日であったため、各委員に対し小委員会の会議結果を文書で報告したところ異論はなかった。
岩出山町農業委員会
・12月24日の総会において協議として取扱い、小委員会の方向性を説明した。委員の中からなぜ初めから1つの農業委員会にしないのかという意見もあったが「既に承認されている協定項目の調整内容を最大限に尊重する」という基本的な考え方により選択肢4に意見を集約した旨を説明し承認を得た。
鳴子町農業委員会
・農業委員会の総会において報告した結果一人も異議がなく、選択肢4を鳴子町農業委員会の意見とすることとした。

田尻町農業委員会

- ・ 12月24日の総会終了後に改めて協議として取扱い，小委員会の方向性を説明した。選択肢4でよろしいということで承認を得た。

その他

- ・ 選挙区ごとの定数を新市で調整することについての質問
- ・ 選挙区ごとの定数を決める際には，鳴子のような面積の広い地域もあるので選挙人の数だけでなく面積も勘案してもらいたいという要望
- ・ 委員からいろいろな要望が出されたが今回は付託されたことのみ議論するとして受け付けなかったという報告

新市の選挙区ごとの定数など，新市で調整しなければならない項目についての意見や要望は，合併後の必要な場面においてそれぞれ申し入れてもらうこととした。

小委員会において選択肢4に意見が集約されたことを改めて確認し，小委員会の審議結果として会議資料1ページの内容で協議会へ報告することとした。

4. その他

前回協議会での小委員会報告に対し，1つの農業委員会に統合するまでの期間がなぜ3年から2年になったのか十分理解されていないところもあったようなので，大崎市が宮城県そして全国の農業をリードしていくためにも新市の農業委員会委員の選挙は統一選挙に合わせるのが望ましいとした説明をつけ加えると農業や産業についての認識も変わってくるのではないかという意見

5. 閉会あいさつ … 加藤副委員長

6. 閉 会